

にぎわいと活力に満ちた魅力あふれるまち

商業振興では、事業者・市民の連携によるまちづくりを目的とした「所沢市商業振興条例」に基づき、一層の商店街振興を進めます。

中小企業振興・労働行政では、中小企業者への融資制度により経営の安定と体質強化を図ります。また、勤労者福祉サービスセンターの運営支援とともに若年労働者のサポートや失業者への就職支援、新規開業・起業支援に努めます。

農業振興では、所沢産農産物の地元での消費を進める地産地消事業を推進し、農産物直売所「とことこ市」の支援や、学校給食での所沢産農産物の使用を進めます。また、農業や化学肥料の使用量の低減を図る環境にやさしい農業の推進、農業後継者や認定農業者の育成、家族経営協定締結の支援などに努めます。

観光施策では、市のイメージアップを図るため映画やテレビドラマ、CMなどの撮影を誘致するフィルムコミッション事業に新たに取り組みます。



旧市庁舎でのドラマ撮影の様子

緑豊かなゆとり・うるおいのあるまち

地球温暖化対策では、地域版環境講習会やエコ・モビリティの普及に努め、温暖化防止活動奨励金制度の実施など家庭での温暖化対策を図ります。

ごみ対策では、循環型社会の構築を目指し「所沢市一般廃棄物処理基本計画」の改訂とともにごみの減量・資源化の促進に取り組みます。

東部クリーンセンターでの焼却灰溶融処理の際に発生する溶融飛灰に含まれる金属類を回収し、資源化率の向上と処理経費の削減を図ります。

また、新たな最終処分場建設に向けて引き続き努力します。

アスベスト対策では、法対象作業全体の現地立入検査を実施し、事故防止に努めます。

緑地保全・緑化推進では、第二榊峰土地地区面整理地内および第二土新井土地地区面整理地内に街区公園をそれぞれ1か所開園します。

ISO関連では、「地球にやさしい学校大賞」を創設し、取り組みを表彰するほか、家庭での「キッズISO」などを推進します。

市畜場については、火葬炉2基を増設します。



国語大会で中賞・ISO中級国際認定を受けた皆さん

いきいきと学び人・文化をはぐくむまち

安全・安心な学校と地域づくり推進事業の充実を図り、教育・防犯・危機管理、三者の連携を一層強化し、児童生徒の安全確保に努めます。

教員補助配置事業により児童生徒一人ひとりへのきめ細かな支援に努め、基礎的、総合的な学力の向上を目指します。さらに放課後の小学校施設を開放する「ほうかごっこ」の実施を拡大します。

いじめ問題対策では、「いじめホットライン」を活用し相談体制を充実します。

教育施設の整備では、小・中学校の耐震補強工事等を実施し、小学校の給食の自校化を進めます。

図書館事業では、コンビニエンスストアでの取り次ぎサービスの継続と、所沢図書館本館の耐震補強工事等を行います。

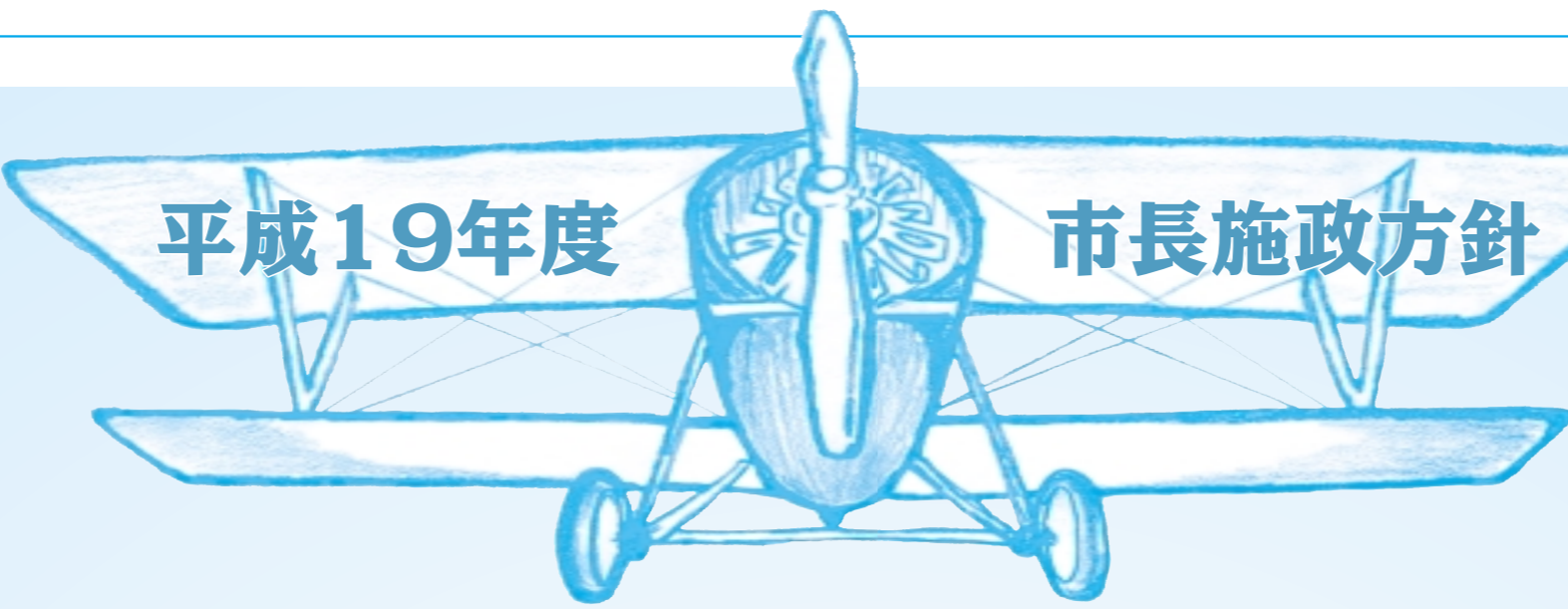
生涯学習では、中央公民館の建て替えについて、早期完成に向け都市再生機構と連携を取りながら進めます。また、旧並木東小学校の跡地利用について、博物館構想や官学連携構想なども視野に入れて検討します。

博物館については、博物館活動体験学習会など市民の皆さんとの協働により取り組みを進めます。

生涯スポーツでは、「健康年齢」の向上を図るため、高齢者を対象に健康体操を全市的に広げます。

このほか、平成20年に本県で開催される全国高等学校総合体育大会の男子バレーボールとバドミントン競技の開催市として、万全の準備を進めます。

平成19年度 市長施政方針



所沢市長
齋藤 航

今日、少子高齢化の進行や人口の減少に加えて、多くの団塊の世代の退職に伴う2007年問題、地方分権改革の推進等、劇的な社会構造の変化の中で、住民に最も身近な政府として地方自治体への期待は、ますます高まっています。

多様な市民ニーズへの対応はもとより、本市もつ特長や可能性を生かしながら、市民とともに創り上げた第4次総合計画基本構想の実現、より安全で安心して暮らせる住みよいまちを目指し、市民に信頼される行政運営を着実に進めていくことが、私の責務であると考えております。

そこで、本年度におきましても、「人間尊重・生活優先・文化重視」を基調とし、「人と地球を愛するまちづくり」を基本理念に、将来都市像「ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市」の実現に向け、7つのまちづくりの目標を掲げて、「みんなでつくる」という協働意識のもと、山積する課題の解決、バランスのとれた市政運営に知恵を絞り、汗を流し、不断の取り組みを進めてまいります。

みんなでつくる ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市 ところざわ



市ホームページから もご覧いただけます
本号で掲載した「平成19年度7つのまちづくりの全文についてご覧いただけます。
問い合わせ 秘書広報課 ☎29 98-9022・FAX2998-9191

みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち

防犯対策では、防災行政無線を活用した犯罪情報等の提供、地域の自主防犯組織のリーダーの養成、青色回転灯装着車でのパトロールを実施し、犯罪が起きにくい地域環境づくりを進めます。

防災対策では、平常時から災害発生時への対応について「所沢市地域防災計画」を見直します。また、住まいの耐震診断や構造計算書の再チェックに要した費用の一部を補助します。

消防業務では、多様化する通信手段に対応する「消防本部通信指令センター」の運用を始めます。また、広域的な相互応援体制の充実、救急救命士の育成と高規格救急車の更新による救命率の向上に努めるとともに、消防団車両の更新、消防団分団施設の整備と、女性を含めた消防団員の入団促進を行い、地域防災力、総合消防力を強化します。

交通安全対策では、交通安全施設等の整備改良、交通安全教育等により交通事故防止に努めます。

放置自転車対策では、西武狭山線下山口駅周辺の市営自転車駐車場の整備等を進めます。

そのほか、ノンステップバスの導入促進等により交通バリアフリー化を進めます。



女性消防団員による防火訪問

安全・安心で快適な住みよいまち

都市計画道路の建設では、北原安松線の早期開通、所沢村山線の稲荷林西宮線から行政道路までの区間の電線共同溝事業を実施します。所沢駅西口交差点から稲荷林西宮線交差点までの区間の工事を進め、北野下宮線の市道315号線から松葉道北岩園線までの区間と、松葉道北岩園線の県道川越所沢線から北野下宮線までの区間の用地買収を進めます。また、所沢駅西地区の一体化と周辺の交通渋滞の緩和を図る所沢駅ふれあい通り線の早期完成を目指します。

市街地整備では、「所沢駅周辺まちづくりに関する総合調整担当」を設け、一体感のあるまちづくりに取り組めます。

図書館・公民館の整備に伴う元町北地区第一種市街地再開発事業は、平成21年度竣工に向け本工事着手します。

水道事業では、鉄管の布設替を実施し、震災対策として南部浄水場貯水施設等の耐震補強工事や北野・山口加圧ポンプ場に非常用発電設備を設置します。

下水道事業では、荒幡・中富・三ヶ島地区をはじめとする市街地調整区域の汚水整備を進めます。

治水対策では、南永井・日比田地区の調整池拡張工事を行います。



元町北地区再開発事業の完成予定図

地域住民の交流・活動の拠点である自治会・町内会の集会所等の整備・維持管理を支援します。

NPO活動等への理解を深める事業や情報発信・提供の場の充実を図ります。

常州市をはじめ、ディケイター市・安養市との学生相互派遣事業を実施し、若い世代が国際社会の一員となれるよう人材育成を進めます。

若い世代が国際社会の一員となれるよう平和の尊さ、命の大切さの啓発に努めます。

豊かな心で健やかに暮らせる 支え合いのまち

児童福祉では、乳幼児医療費助成事業のうち、通院において設けている自己負担金と市内医療機関等における一部負担金の窓口払いを10月診療分から廃止します。また、10月に開園予定の大型保育園（新所沢・つばみ保育園を統合）では、通常保育のほか乳児保育（一時保育、地域子育て支援事業など）を実施します。

高齢者福祉では、市内全13か所となる地域包括支援センターを拠点に、高齢者が住み慣れた地域で健やかに暮らせる体制づくりに努めます。また、高齢者福祉施設を日常生活圏域ごとに整備し、地域の高齢者およびその家族の福祉の向上と負担の軽減を図ります。

障害者福祉では、障害福祉サービス利用者負担軽減制度の普及とサービス利用の促進に努め、さらに障害児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図るため、市独自に利用者負担の一部を助成します。

社会保険施策では、生活保護受給者へ民間のカウンセラーによる就労支援を行います。

また、国民健康保険加入者が医療機関の窓口で支払う出産費用の負担軽減を図るため、出産育児一時金受取代理制度を実施します。

保健・医療面では、未熟児訪問指導事業等を実施します。

また、小児医療の充実や人間ドックを通じた生活習慣病予防などの保健指導を促進し、市民の健康維持・増進を図ります。



建設中の大型保育園